

ひたおきに、しなやかに、大胆に 書道学科。



「カリグラフィックプレゼンテーション」作品（めで鯛）



2020年2月 「卒業制作展」パフォーマンス風景



2019年9月 「夏合宿」作品制作風景



2019年8月 「夏の創作展」会場風景

学科案内パンフレット

2020年7月

安田女子大学文学部書道学科

《目 次》

【1】 沿革	P. 2
【2】 コンセプト	P. 3
【3】 本学・本学科の教育と求める入学者像	PP. 3-4
【4】 書道学科のブランディング・タイトル	P. 5
【5】 学びの内容	P. 6
【6】 4年間の学び —全学共通の授業科目、「特別科目」「共通教育科目」—	PP. 7-8
【7】 4年間の学び —「専門教育科目」とカリキュラム—	PP. 9-10
【8】 授業紹介	PP. 11-13
【9】 取得できる免許・資格	P. 14
【10】 卒業後の進路につながるサポート	P. 14
【11】 社会への発信 —書道学科主催行事—	P. 15
【12】 卒業後の進路〈一般企業等〉	PP. 16-17
【13】 卒業後の進路〈教職〉	PP. 18-20
【14】 年間スケジュール	PP. 21-22

《書道学科教職員紹介》



信廣 友江（教授/学科長）



大迫 正一（教授）



谷口 邦彦（教授）



増田 知之（准教授）



田村南海子（助教）



松村 理恵（教務職員）

◎客員教授： 魚住 和晃（卿山）・尾崎 建治（蒼石）

【1】沿革

井上桂園書（1966年）



1966年（昭和41）、安田女子大学の開学とともに「安田の書道」は始まりました。めざすのは純正の書道、そして書道を通じた人間教育。それから約半世紀が経ちます。この間、変わることのない理念のもとで、書道の「いま」を考え、「これから」を展望して、多くの学生たちが真摯に書を学び、堅実な社会人として巣立ってまいりました。

1966	昭和41	1月	安田女子大学創設
1966	昭和41	4月	安田女子大学文学部開学 文学部日本文学科内に〈書道専修〉を設置
2001	平成13	4月	日本文学科は[日本文学][書道文化]の2コース制となり、 〈書道専修〉は〈書道文化コース〉へと呼称を変更
2002	平成14	4月	日本文学科は[日本文学][書道文化]の2専攻に分割され、 〈書道文化コース〉は〈書道文化専攻〉として独立
2011	平成23	4月	日本文学科書道文化専攻を改組し、〈書道学科〉を開設 学科1期生（書道46回生）入学
2015	平成27	3月	学科1期生卒業
2020	令和2	3月	学科6期生（書道51回生）卒業
2020	令和2	4月	学科10期生（書道55回生）入学

【2】コンセプト

コンセプトは、美意識をもって文字^{コトバ}を書くこと。

〈美意識〉は書の芸術性を、〈文字^{コトバ}〉は書の学術性をあらわします。また、〈美意識〉は一人ひとりの個性を、〈文字^{コトバ}〉は人と人とのコミュニケーションをもあらわします。

日常生活で普通に用いている文字^{コトバ}は、実は非常に大きな「書」の文化を背景としています。文字^{コトバ}は、過去だけでなく、いまと、そして未来をつなぎ拓くための根本を支えるツールでもあります。

書道学科は、こうしたツールの根本を多様な視点から追求し、社会の幅広い分野で先導的な役割を果たす人、そして指導者として書写書道の発展に貢献できる人を養成します。

【3】本学・本学科の教育と求める入学者像

1. 安田女子大学の教育方針について

本学は、建学の精神である「柔しく剛く」を具現化するために、諸学の知識を広く深く教授研究し、自尊の人格、豊かな教養、思いやりの心を持つ真に自立した女性を育成し、有為な人材として社会に送り出すことを目的として、学生の知的、道徳的及び応用的能力の育成・展開を図っています。

2. 安田女子大学が養成する人材像

本学は、建学の精神「柔しく剛く」に基づく本学の目的を達成するために、人を思いやる豊かな人間性、高い倫理観を持ち（柔しく）、諸領域での専門的知識・技能に精通し、現代社会の諸課題を見いだして解決策を創造し表現する力を持ち（剛く）、社会の中で主体的に行動できる人材を養成します。

3. 書道学科が養成する人材像

本学が養成する人材像に基づき、「人を思いやる豊かな人間性と高い倫理観を持ち、書道に関する専門的知識と実技能力を有し、書道文化人としての素養を生かして幅広い分野で先導的な役割を果たす職業人、そして高等学校芸術科書道教員、中学校・高等学校国語科教員等の指導者として、書写書道分野の発展に貢献できる人材」を養成します。

4. 書道学科の教育目標

本学科で養成する人材が卒業時に身につけておくべき能力・態度を達成することを教育目標とします。

5. 書道学科の教育内容

書道学が漢字文化圏の文化を支える歴史性・思想性・芸術性に富む学問であることを踏まえ、豊かな人間性と高い倫理観、そして幅広い教養の上に、書道学の専門性を身につけることを、学科教育の基本方針とします。

具体的には、書道の学術面を追求する「書学」、芸術面を追求する「表現」の2領域を専門領域の骨格に置き、教養教育・専門教育が有機的に組み合わせられた4年制教育課程を編成します。

主要な教育内容は、次の6つにまとめられます。

1. 書道の指導的役割を担い、書道文化を体現する専門的職業人としてのヒューマニズム・倫理観の育成
2. 書道の指導的役割を担う専門的職業人としての知識・技能・態度の育成
3. 問題点を自ら発見して解決するための応用力の育成
4. 自己研鑽を続けながら後継者を育成する能力の育成
5. 社会性とコミュニケーション能力の育成
6. 多様性を受容して理解する能力の育成

6. 安田女子大学が求める入学者

積極的で、向上心に富み、人間と自然を愛し、旺盛な学修意欲を持って、異なる考え方や文化を尊重し、主体的で他者との共生を図りながら社会で活躍したい人を求めています。

地域社会、日本及び世界の諸課題に関心を持ち、文学、教育学、心理学、ビジネス学、家政学、薬学、看護学等に関心を持つ人並びに本学及び各学部・学科の教育目標に共鳴し、他者と協力して課題を発見・解決しようとする熱意を持つ人を広く求めます。

7. 書道学科が求める入学者

本学が求める入学者像に基づき、次のような人を求めます。

1. 文字文化に関する幅広い知識・教養を身につけようという学修意欲のある人
2. 書道に関する専門的知識や技量を高めようという意志のある人
3. 書道を通して自己の感性を高め、ものごとを柔軟に探求しようとする人
4. 書道学の学修を通して広く文化一般に対する理解を深め、書道を生かして社会に貢献しようとする人

【4】書道学科のブランディング・タイトル

伝統と革新

— 〈書道〉の継承と〈SHODO〉の発信—

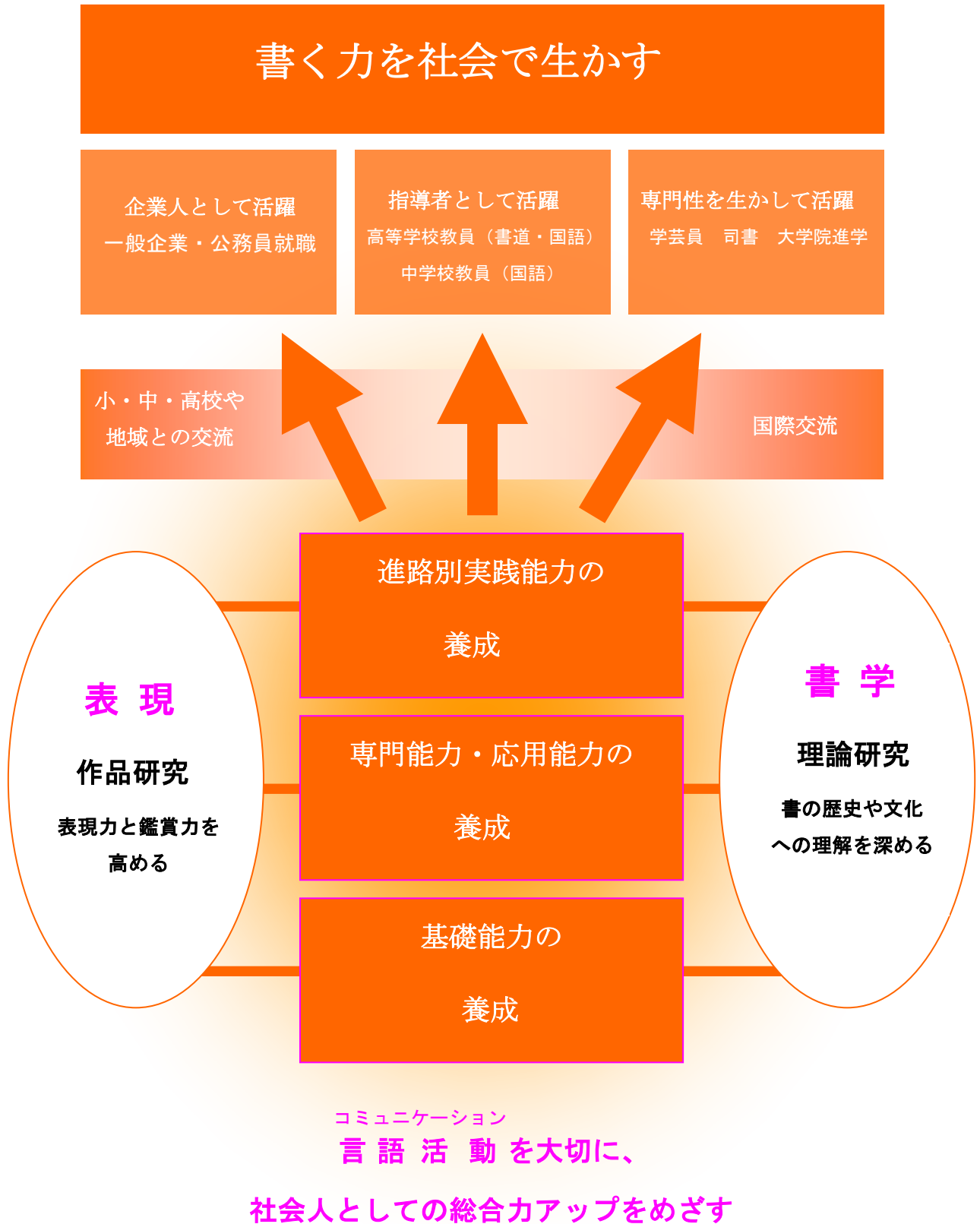
安田女子大学書道学科は、古典研究を基軸とする中立中正の堅実な書道教育を行い、書の伝統を継承します。

同時に、グローバルな視点のもと、高校生席書大会、国際公募書道展等の社会教育活動を展開して広くSHODOの発信を行い、書の発展とその一層の活性化をめざします。

学科の諸活動にはすべての学生が積極的に加わり、他者との協働を通して書道能力のみならず、企画運営力、コミュニケーション力等々の人間力を身につけて卒業後の進路に繋がります。

伝統の上に新たな世界を拓いて前進を続ける書道学科。
本学科は、〈伝統と革新〉をブランディングテーマとしています。

【5】 学びの内容



【6】4年間の学び —全学共通の授業科目、「特別科目」「共通教育科目」—

本学では、「人格の完成をめざす」という教育理念の実現を図り、広い範囲にわたる授業科目を準備しています。

本学を卒業するためには、**128 単位以上**の単位取得が必要です（薬学部を除きます）。

全学共通の科目…「特別科目」	4 単位
「共通教育科目」	3 2 単位以上
学科別の科目 …「専門教育科目」	9 2 単位以上

(1) 特別科目：「まほろば教養ゼミ」

本学独自の特色ある科目で、1 年次から 4 年次まで開講されます。この授業では、チューターが学生と密にコミュニケーションを図りながら指導助言を行い、学生自身が自らの人格形成の道筋を修得していきます。

(2) 共通教育科目：3 分野で構成。全学部全学科に共通して開講される科目

1. キャリア科目

「キャリアデザイン」「ボランティア活動」「インターンシップ」「職と食—パティシエ実習」

2. 教養科目（※次ページに講義題目の一部を掲載）

「人間論」「こころの科学」「からだの科学」「人間形成の科学」「ことばの世界」「日本の文学」「世界の文学」「芸術」／「現代社会と人間」「21 世紀の社会と法」「21 世紀の経済」「現代のビジネス」「現代社会と政治」／「異文化理解」「日本の歴史と文化」「世界の歴史と文化」「国際協力」／「数学の世界」「自然科学の世界」「生命の科学」「環境の科学」「生活の科学」「情報の科学」

3. 基礎科目

- 情報処理科目（4 単位必修）：「情報処理基礎」「情報処理演習」
- 健康スポーツ科目：「健康スポーツ」「野外活動」
- 外国語科目（英語必修 6 単位以上）：「英語リーディング」「英語ライティング」「英語コミュニケーション」「フランス語コミュニケーション」「中国語コミュニケーション」「北米文化語学演習」「中国文化語学演習」
- 基礎養成科目：「基礎国語演習」「基礎社会演習」「基礎数学演習」「基礎理科演習」「基礎生物演習」「基礎物理演習」

■このほかに、「教員免許状に関する科目のうち教職に関する科目」「資格に関する科目」「他学科科目」「単位互換科目」があります。

2020 年度開講 教養科目 講義題目(一部)	
経済学－世界と日本の経済	身の回りの化学－自然界にある毒と薬
経済の歴史－富と格差	情報工学－情報メディアとそれを支える技術
法学－国際社会と法	情報科学－コンピュータは人を超えられるか
働くということ－男と女	道徳教育学－いじめ・体罰の深層を考える
予防医学入門－健康増進と疾病予防	教育学－近世の女子教育
進化心理学－協力する心の不思議	社会福祉－子どもと家庭の福祉
政治心理学－福祉・コミュニティと地域政策	幼児教育学－子どもと遊び
認知心理学－認識と知識に関する心の科学	哲学－生と知の探求
臨床心理学－トラウマの理解とその対処	医学からみた生命倫理
対人コミュニケーション論－人と人の関係	倫理学－人と人との関係
日本語学－ことばのゆれ	映画による社会学
言語学－ことばと世界の捉え方	数学の世界－数学で賢く生きる
英語学－英語の豊かな表現技法	中国の古小説－神と鬼と夢、異界との交流
国際関係論－世界における日本の立ち位置	アメリカ文学－『若草物語』を読む
環境と健康－人と地球の環境問題	東アジア歴史学－古代中国の国際関係
美術史－西洋の美	歴史学－中国の現代史
美学－ドイツリートの世界とその周辺	比較宗教学－現代社会と宗教
デザイン学－ボーダーレス社会とものづくり	住居学－住むということ・住まいと生活
書学－日本の書	衣服学－着るということ・飾るということ
美学－筆跡の美とその多様性	神経科学－脳と行動
書学－中国五千年の書法美	予防医学－食と病
ビジネス理論－グローバル化に対応できる力	ウイルス流行史－感染と流行の仕組みを知る
経営学－マーケティング入門	生命科学－老いるということ
流通－ものが動くということ	生命科学－病気の起こり方を知る
現代文化学－中国の言語と文化	公衆衛生学－人類と感染症との闘い
マスメディアと地域社会	養護学－こころと身体メカニズム
現代社会と家族	古典文学－平安王朝文学の世界
スポーツ考－オリンピックがもたらすもの	日本の演劇－歌舞伎から現代へ
国際理解－グローバル化と多文化社会	近世文学－文学作品に描かれる人々
環境学－資源クライシス・気候変動	現代文学－小説に見られる女性たち
科学史－科学を作った人たち	近現代文学の開拓史－ミステリー小説の興亡
宇宙科学－宇宙と地球	外国人から見た日本文学
化学－無限に広がる物質世界の探検	日本史学－20世紀日本の歴史
健康長寿の科学－文化と生物のはざままで	外国人から見た日本文化論
脳と心の科学－脳と心の病を知る	日本の伝統文化－歌舞伎・能・狂言

【7】4年間の学び — 「専門教育科目」とカリキュラム—

- 特徴
1. **〈基礎〉** から **〈応用〉** へと、順に積み上げるカリキュラム
⇒ 初心者の方も確実に実力をつけていくことができます。
 2. 幅広い知識・技法の修得を可能とする科目構成
⇒ 伝統的書道科目を基軸とし、それに関連させた日本・中国の文化・文学や、「書と現代社会」のように書に関わる現代の課題を考える科目、「カリグラフィックプレゼンテーション」「ビジネス概論」など社会における書の活用を学ぶ科目まで幅広く配置。一人ひとりの個性・適性や目的に応じて学修を深めることができます。

■構成 1. 4分野で構成

基本科目 卒業研究	書学基礎／表現基礎／卒業研究	33	合計 72単位 以上	合計 92単位 以上
展開科目	書学領域／表現領域	39		
関連科目	日本の文化・文学／中国の文化・文学 社会における書の活用			
自由科目	教職・資格に関する科目／他学科科目			

2. 「基本科目・卒業研究」「展開科目」は、**ステージⅠ** から **ステージⅢ** まで、学修段階を追って配置

段 階	目的・内容		学 年	授 業 科 目
ステージⅠ	高校との接続及び補完・大学書道教育への導入【必修】		1年次前期	基礎ゼミ，楷書Ⅰ，行・草書Ⅰ，仮名Ⅰ，硬筆書写
ステージⅡ	学部教育としての書道基礎【必修】	書道基礎教育Ⅰ 〈基礎固め〉	1年次後期	書道概論，楷書Ⅱ，行・草書Ⅱ，仮名Ⅱ
		書道基礎教育Ⅱ 〈専門への導入〉	2年次	書道史Ⅰ・Ⅱ，篆・隸書Ⅰ，漢字仮名交じりの書
ステージⅢ	書道専門教育【選択必修】		2～4年次	書論，執筆理論，石碑と法帖，鑑賞，書道と芸術，水墨画等
	独自重点教育【必修(一部選択必修)】		1～3年次	書道特殊実習Ⅰ～Ⅵ
			4年次	卒業研究Ⅰ・Ⅱ，卒業論文[含：卒業作品]

書道学科 専門教育科目配置一覧

(2020年度入学生)

1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期
ステージⅠ〈導入〉		ステージⅡ 〈基礎〉				ステージⅢ 〈専門〉	
基本科目 (必修)		基本科目 (必修)				卒業研究 (必修)	
高校との接続及び補完・大学書道教育への導入		学部教育としての書道基礎 (専門への導入)				学部独自の重点教育	
初年次教育Ⅰ		初年次教育Ⅱ		基礎教育Ⅰ		基礎教育Ⅱ	
基礎ゼミ 楷書Ⅰ 行・草書Ⅰ 仮名Ⅰ 硬筆書写 ★書道特殊実習Ⅰ〈一部集中〉		書道概論 楷書Ⅱ 行・草書Ⅱ 仮名Ⅱ ★書道特殊実習Ⅱ〈一部集中〉		書道史Ⅰ 篆・隸書Ⅰ 漢字仮名交じりの書 ★書道特殊実習Ⅲ〈一部集中〉		書道史Ⅱ ★書道特殊実習Ⅳ〈一部集中〉	
		ステージⅢ 〈専門〉					
		展開科目 (選択必修)					
		書道専門教育					
		専門教育Ⅰ		専門教育Ⅱ		専門教育Ⅲ	
		専門教育Ⅳ		専門教育Ⅴ			
		古文書学Ⅰ 表具と修復〈集中〉 執筆理論〈集中〉 行・草書Ⅲ 色彩学 絵画・デッサン		書論 篆・隸書Ⅱ 篆刻・刻字		古筆と墨跡 石碑と法帖 書と現代社会 古典研究 創作研究 カリグラフィックプレゼンテーション ★書道特殊実習Ⅴ〈一部集中〉	
						鑑賞 作品研究Ⅰ 水墨画 書写 書道実地研究 (研修旅行) 書道と芸術〈集中〉 ★書道特殊実習Ⅵ〈一部集中〉	
						作品研究Ⅱ〈一部集中〉	
関連科目 (選択必修)							
日本語学概説Ⅰ 日本文学概論Ⅰ 中国文学概論Ⅰ 日本文化論Ⅰ	日本語学概説Ⅱ 日本語音声学 日本文学概論Ⅱ 中国文学概論Ⅱ 日本文化論Ⅱ	日本語学講読Ⅰ 日本文学史Ⅰ 日本語文章表現演習 日本文学演習Ⅰ 中国文学演習Ⅰ 日本文化史Ⅰ	日本語学講読Ⅱ 日本文学演習Ⅱ 中国文学演習Ⅱ 日本文化史Ⅱ	日本語史 中国文学講読Ⅰ 中国文化論Ⅰ ビジネス概論	日本語口頭表現演習 中国文学講読Ⅱ 中国文化論Ⅱ ビジネス実務演習		

1. ★は学部独自の重点教育科目 (ステージⅢに相当)。〈通常授業〉と〈集中授業〉で構成しています

2. それぞれの科目の内容については、大学HPのシラバスをご覧ください

【8】授業紹介



＜基礎ゼミ＞

書道学科での学修内容を、講義やグループ活動（ディスカッション、プレゼンテーション）を通し、体系的に学んで理解を深めるとともに、4年間の自己の目標を探っていきます。今年は専任教員4名が担当し、学術的テーマを強く意識した内容のもと、レポート執筆やグループ研究を行いました。

＜楷書Ⅰ～Ⅱ＞

まず高校書道Ⅰで学習する楷書古典を取り上げ、時代や用筆運筆から生じる表現技法の違いを捉え楷書書法の基本を学びます。書体の変遷から見て一番最後にできた楷書は現代でも使われており、作品制作を通して楷書の役割についても考察していきます。

＜行・草書Ⅰ～Ⅲ＞

行書・草書は表現の幅が広く、＜書く＞という楽しみの幅も無限。行書は日常書として普段からよく使う身近なものであり、草書は線や造形表現がとにかく楽しい書体。王羲之を中心とする様々な古典の臨書を通して行書・草書の知識と書法を着実に身につけ、自力で創作する力を養います。

＜仮名Ⅰ～Ⅱ＞

高等学校の芸術科書道での学習をうけて、仮名書法の基礎と、仮名古筆臨書の基本を学習します。また仮名Ⅱでは、仮名Ⅰで学んだ基本的用筆法をもとに、書法・書風の異なった平安朝古筆の臨書活動をすることで、さらに高度な仮名書法の習得をめざします。

＜作品研究Ⅰ～Ⅱ＞

書は造形表現の一つです。書の作品を制作していくうえで、必要不可欠な知識・技術がたくさんあります。そうした作品制作の方法について総合的に学習します。さらに作品制作を通して、書は＜書くもの＞から＜創るもの＞へと意識を変えて、創造することの楽しさと難しさを学びます。

＜書写＞

小・中学生への書写指導の内容を理解し、実技力を身につけていきます。小・中学校の書写授業の内容だけでなく、将来子どもたちに正しい書き方を教えられるよう進めていきますので、教員免許取得希望者に限らず全員に履修してもらいたい授業です。





＜書道概論＞

文字の上に美意識を重ねたところに書道は生まれます。こうした書道の特質について、書体・書法・文化・歴史・芸術・教育・心理等々、様々な視点から概観して理解を深め、現代における書道のあり方や将来像について考えます。日本文学科の学生と一緒に学ぶ授業です。

＜書道史Ⅰ＞

書道は、中国で発生・展開した漢字を表現媒体として成立する特殊な芸術です。漢字のさまざまなスタイルで書かれた悠久の中国書道史の名品をビジュアルに鑑賞し、さらに魅力あふれる書人達に関する文献資料などによって、書道史を平板にならないように講述します。

＜書道史Ⅱ＞

中国の文化の一つとして日本に漢字が伝えられ、日本の書道史がはじまりました。そして「かな」がつくれ、「和様」など日本独自の書体・書風も確立されていきました。そうした文化としての日本の書とその特質、また連綿と続く中国の書との関わりにも注目しながら日本の書の歴史を学修します。

＜書論＞

書論とは、単に書法理論というばかりではなく、書に関するあらゆる言説をいいます。中国語（漢文）で書かれた原典に接し、それを翻訳、さらに解説を加えて、その研究方法をやさしく論じていきます。

＜石碑と法帖＞

書を学ぶ上での基本資料に石碑と法帖があります。石碑はより広義に言えば石刻といってもよいでしょう。法帖はいわば手紙の書といえましょう。王羲之などの古典は真跡が無く、石刻、法帖によって伝えられています。真跡とは異なる味わいがあり、これらの実物を手にとって、学んでいきます。

＜書道特殊実習Ⅰ～Ⅵ＞

1年次から3年次までの3年段階を追って開講するもので、学生各人が設定した課題を追究し、4年次の卒業研究作品へと繋いでいきます。7月初、夏休み、冬休みには集中授業として3学年合同の通い合宿を行い、学年を超えた縦割りグループをつくって書き込みます。一人ひとりの個性が大きく育つ本学書道伝統の科目です。



■ 特色ある科目 & 新規開講科目



＜カリグラフィック プレゼンテーション＞

グラフィックデザインの視点から文字・書をとらえ、花押をアレンジしたオリジナルロゴマークの制作、オリジナル名刺の制作、マーケティングにマッチングした商品ラベルの企画立案などを行います。日本酒ボトルデザインの優秀作は毎年商品化しています。書を社会で生かす実践的能力が身につきます。



＜表具と修復＞

日本と中国の表具の歴史を紹介し、表具の構造や材料の特性について論じます。永く伝えられた技術が今なお生き続ける理由を理解し、現在と未来に役立つ表具の基礎知識を習得することができます。表具実習を適宜組み合わせを行い、技能をも習得していきます。2日間の集中講義で開講しています。



＜書と現代社会＞

現代社会と書との関わりについて、「書と筆跡心理」「書と筆跡鑑定」「書とコンピュータグラフィックス」の3つの柱を立てて分野ごとに考察を深め、これからの書のあるべき姿を展望します。いずれも今求められる大切な課題といえます。それぞれの専門家4名が、最新情報を提供しながらオムニバス形式で展開します。

＜古筆と墨跡＞

平安時代から鎌倉時代の和様の書跡である「古筆」と、鎌倉時代以降に流行した禅僧の書である「墨跡」を取り上げ、その文化が生まれた歴史背景、また著名な人物、作品、書風、表具、料紙などについて理解を深めます。「古筆」「墨跡」を通して、日本の書道史をより深く、より専門的に学んでいく科目です。



【9】取得できる免許・資格

■書道学科では次の免許・資格を取得することができます。

1. 高等学校教諭一種免許状（書道・国語）
2. 中学校教諭一種免許状（国語）
3. 学校図書館司書教諭
4. 司書
5. 学芸員

（注）・中学校書写は国語科教員が授業を担当します。

・組み合わせにより4年間では取得できない場合があります。

【10】卒業後の進路につながるサポート

■書写ボランティア

安田小学校のアフタースクール（硬筆・毛筆書写）、安田幼稚園・安田幼稚園安東園舎の硬筆書写教室における指導アシスタントをすることができます。とくに教職や指導者をめざす学生たちにはぜひとも体験してほしい活動です。このアシスタント経験者から、何人もの人が教採に合格しています。

■各種イベントへの参加

海外の方や地域の子もたちとの書道交流、書道パフォーマンスの披露、また大会への出場等、さまざまなイベントへの参加機会があります。これらの活動を通して書道技量はもちろん、書の活用力やコミュニケーション能力も飛躍的に向上し、就職活動や社会人としての生活の中でおおいに役立っています。

■教員採用試験対策補講

教員採用試験の合格を目指したさまざまな補講を授業外で行っています。これらの取組を通して試験に向けた学習を積み重ねていくとともに、教員としての意識を醸成していきます。

■公務員試験対策補講

教員採用試験だけでなく、公務員試験に向けた補講やガイダンスも充実しています。

■文科省後援毛筆書写検定、硬筆書写検定資格の取得

毛筆書写検定・硬筆書写検定の1級合格をめざして定期的に練習会を開き、指導を展開して合格実績を上げています。

【11】社会への発信 ―書道学科主催行事―

本年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりまして、多くの活動・取組で延期や中止、さらには例年とは異なった運営を余儀なくされています。しかし、学生の学修成果の公開や、書道文化の社会的発信は、このような状況であってもなお継続していくべきであると考えます。

■学生作品展

○ 第6回夏の創作展 ―Summer Calligraphy Festival―

冬の卒展に対する夏の創作展。「書道特殊実習」で制作した**創作作品**を展示します。今回は、各学年で会期を分けて展示を行う予定です。

日 程 2020年 8月1日（土）～ 10月30日（金）
会 場 安田女子大学7号館3階書道展示室・1号館2階渡り廊下
（1号館2階渡り廊下は9月21日（月）まで）
出品者 書道学科 1年～3年 *全員

○ 第52回卒業制作展・（併催）書道学科展・（併催）安田小・中・高等学校書道展

4年間の学修成果を発表する卒業制作展。併催展として1～3年も出品し、全学年が参加します。安田小・中・高校の生徒作品も展示。ぜひご来場ください。

日 程 2021年 2月23日（火）～ 2月28日（日）
会 場 広島県立美術館 地下1階県民ギャラリー
出品者 書道学科 1年～4年 *全員
安田学園小・中・高等学校 生徒

■公募展

○ 第6回インターネット国際書道展 [グローバル書道@YASUDA]

インターネットを活用した国際書道展。**学齢前の子どもたちから一般の方まで**、すべての人を対象とする公募展です。ぜひご出品ください（出品料無料）。

分 野 硬筆の部・毛筆の部・文字デザインの部
締 切 2020年12月4日（金）
※ 詳細は学科HPをご覧ください
※今回、[毛筆の部・高等学校相当]は、第15回全国高校生〈書道〉S-1グランプリ として実施いたします。
またグランプリ作品は、第52回卒業制作展の併催展で展示させていただきます。

【12】卒業後の進路〈一般企業等〉

書道学科（書道文化専攻・書道文化コース・書道専修）学生の就職は、実は教職に限らず定評があります。「**字が書ける**」こと、そして、書道学修を通じて培われた「**人間力**」は、社会に出たのち、大きな力となって活躍の場を広げます。

■就職率

2019年度	100%	2018年度	100%
2017年度	92.9%	2016年度	100%
2015年度	95.2%	2014年度	100%
2013年度	100%	2012年度	95.5%

■2020年3月卒業22名の進路先

営 業	株式会社フォーデック、大進創寫館
営業事務	株式会社山口フィナンシャルグループ、呉信用金庫、広島市農業協同組合（2名）、富士ゼロックス熊本株式会社、福山通運株式会社、中村角株式会社、中国紙工業株式会社、株式会社 Fabric Arts、株式会社ネクストビジョン
事 務	株式会社桑原組、株式会社ナカタ・マックコーポレーション、
販 売	株式会社マーキュリー、株式会社リライアンス（コスモス薬局）
公 務 員	なし
教 育	広島県立府中東高等学校（教諭・書道）、福岡大学附属大濠中学校・高等学校（常勤・書道）
進学・その他	広島大学特別支援専攻科（知的障害教育領域コース）、安田女子大学研究生、中国留学準備、厳島神社

■大学院進学

書道学科の卒業後、安田女子大学大学院文学研究科日本語学日本文学専攻へ進学して、より深く書道を学ぶことができます。

- * 大学院では、高等学校教諭専修免許状（書道・国語）・中学校教諭専修免許状（国語）を取得することができます

■卒業生の声■

損害保険ジャパン株式会社 広島支店 広島第二支社 営業担当
大谷 有紀（2016年3月書道学科卒業・広島県立廿日市高等学校出身）

私は大学3年生の時に、広島東洋カープのホームランガールとして1年間活動しました。主な活動内容としては、ホームランを打ったカープ選手にスライリーの人形を手渡したり、イベントのサポートを行ったりしました。それと並行して、ご縁をいただいて、大学4年生までRCCラジオでパーソナリティの方のアシスタントとして活動しました。このような活動を通して、様々な業界業種の方と接したり、お話を

する機会を頂いたり、私にとって世界が広がる貴重な経験となりました。
大学時代の経験から社会に貢献したいと思い、損害保険会社に就職しました。現在は、営業担当として代理店の方々に対し育成指導を行っています。もちろん大変なこともあります。自分自身だけでなく、担当代理店の成長も感じることができ、日々やりがいを持って働いています。

（2020年6月記）



■卒業生の声■

株式会社プリンスホテル グランドプリンスホテル広島 管理・人事担当
山元 麻依未（2019年3月書道学科卒業・山口県立柳井高等学校出身）

ホテルの仕事といえば、フロントやロビー、レストランのサービスなど接客業務を思い浮かべると思います。しかし、私が携わる管理・人事は、日々一緒に働く社員がお客様です。社員が働きやすい環境を整え、業務を進めやすいようにバックアップを行います。

社員が充実して業務を行えることが、お客様からのホテルへの信頼に繋がります。

現在はパソコンを日常的に使用するなか、お客様への宛名書きや社員への書類など、ホテル内外へ向けて、習得した書道を活かしています。フロントなどのサービス業務においても、お客様への手紙、領収書などで手書き文字を活用する場が多く、ホテルの仕事でも書道を身近に感じることができます。また、一緒に働く社員がお客様だからこそ、レベルの高い接客が日々求められます。挨拶などの些細なことにも丁寧さを心がけてコミュニケーションを大切にし、書道学科で学んだ礼儀やコミュニケーション能力を発揮しています。

（2020年6月記）



【13】卒業後の進路〈教職〉

書道学科（書道文化専攻・書道文化コース・書道専修）は教員養成で定評があり、創設以来、多くの人材を教育現場に送り出してきました。教職を目指す学生・卒業生にとって最大の目標は、都道府県教育委員会が実施する「教員採用候補者選考試験」への合格。書道学科では、教採合格のための細やかな指導を継続して行っています。夏季休暇中の教採特講では、在学生と卒業生が合流し、火花を散らし合うように真剣に勉強します。尚、2009年度からの実績につきましては、20頁の「教員採用試験結果情報」をご参照ください。

安田女子大学書道学科の自慢：それは、教職志望の学生・卒業生が相互に助け合い、高め合う姿勢を持っていることです。互いにアドバイスし合いながら切磋琢磨し、その中で全員の力量が飛躍的に向上していきます。

■合格者の声■

広島県・市【高等学校（書道）】合格

佐藤 麻衣（2019年3月書道学科卒業 広島県立安古市高等学校 教諭）

全くの書道初心者であった私は、高等学校で書道部に入部したことをきっかけに人生が大きく変わりました。恩師が目をかけて下さったことで、全国総合文化祭に広島県代表として出場することができ、日々の練習によってついてくる結果に、より一層書道が好きになりました。そして、大学でも書道を専門に学びたい、恩師のような書道教員になりたいと思い、安田女子大学の書道学科を選択しました。

大学では高校での学びに加え、機関誌の題字、お酒のラベルの作成、書道パフォーマンスなど、書道の多面性を感じました。また、書道部の部長として合宿を行ったり、川尻での筆作り体験を行ったりと、日々時間に追われながらもではありましたが、大変充実した4年間を過ごしました。

教員になり、3カ月が経ちました。授業づくり、校務分掌、クラス運営、部活指導など、まさに怒涛の日々ですが、充実した時間を過ごすことができていると感じています。特に授業づくりに関しては、書道の授業の有用性について何度も考えさせられます。AI技術が進む現在だからこそ、人ができることは何なのか。字を綺麗に書くためだけでなく、書道の授業を通して生徒に何を感じさせ、何を身につけさせればよいのか。明確な答えはまだ見つかっておりませんが、これから先も考え続けていく必要があると思っています。

今、進路指導部の一員として学ばせていただく中で、教員は生徒の将来を左右する重大な役割を担っていると感じています。生徒一人一人、性格も考え方も違う中で、指導していくことの難しさを痛感しています。だからこそ、生徒との時間を大切にして、毎日を過ごしていきたいと思っています。（2020年6月記）

（広島県立福山明王台高等学校出身）



■合格者の声■

広島県・市【高等学校（書道）】合格

岡田 彩（2020年3月書道学科卒業 広島県立府中東高等学校 教諭）

私は、高校時代は書道部ではなく他の部活に励んでおり、書道は授業で学ぶ程度だったのですが、恩師の助言と指導を受け、安田女子大学への進学を決めました。はじめは、周りとの実力差を不安に感じ、授業についていけないのではと心配していましたが、授業は基礎から学ぶことができる内容で、高校時代に書道の経験がほとんどない私でも、楽しく学ぶことができました。

高校書道の教員になりたいと思ったのは、大学3年の夏頃で、それまでは、大学生活を大いに楽しみました。放課後は友達と一緒に学校に残って作品を書いたり、授業の課題に取り組んだりしていました。旅行へもたくさん出かけました。何か特別なことをして教員になれたのではなく、当たり前のことを当たり前に行うことで、知らず知らずのうちに教員としての資質や力が身についたのだと、安田で学んだことのありがたさを感じています。

高校の教員として働き始めて3ヶ月が経ちましたが、授業をはじめ生徒指導や部活指導など、教員の仕事はとても多いです。思い通りにいかないことの連続ですが、生徒の反応を楽しみながら、毎日を忙しく過ごしています。生徒と本気で向き合い、生徒の成長を見守り、そして同時に私も成長し続けていけるよう精進を重ねていきたいと思います。（2020年6月記）

（広島県立広島観音高等学校出身）



■公立学校教員採用試験合格実績（2009年度～）

試験実施年度	都道府県・市	校 種	教科/科目	現役生	卒業生	合 計
2019年度	広島県・市	高等学校	書道	1名	1名	3名
		特別支援学校（高等部）	書道		1名	
2017年度	福岡県	中学校	国語		1名	1名
2016年度	広島県・市	高等学校	書道	1名	2名	4名
		中学校	国語		1名	
2015年度	広島県・市	高等学校	書道		2名	4名
		特別支援学校（高等部）	書道	1名		
	京都府	中学校	国語		1名	
2014年度	広島県・市	中学校	国語	1名		3名
	山口県	中学校	国語	1名	1名	
2013年度	広島県・市	高等学校	書道		1名	5名
		特別支援学校（高等部）	書道	1名		
			国語		1名	
	中学校	国語		1名		
	山口県	中学校	国語	1名		
2012年度	広島県・市	高等学校	書道	1名	1名	7名
		中学校	国語	2名		
		小学校	全		1名	
	東京都	中学・高等学校	国語	1名		
	島根県	中学校	国語		1名	
2011年度	広島県・市	高等学校	書道		4名	4名
2010年度	広島県・市	高等学校	書道		2名	3名
	山口県	中学校	国語		1名	
2009年度	広島県・市	中学校	国語		3名	3名
				11名	26名	37名

※広島県・市以外の卒業生の数は、本学把握分を掲載しています。

■私立学校採用実績（2014年度～）

採用年度	都道府県・市	校 種	教科/科目	現役生	卒業生	合 計
2019年度	福岡県	中学・高等学校	書道	1名		1名
2018年度	兵庫県	中学・高等学校	書道	1名		2名
	山口県	中学・高等学校	書道・国語	1名		
2016年度	広島県	中学校	国語	1名		2名
	岡山県	高等学校	書道	1名		
2015年度	広島県	高等学校	書道	1名		1名
2014年度	岡山県	高等学校	国語	1名		1名
				7名		7名

【14】年間スケジュール

※本年は多くの取組が延期・中止となっています。

4月 5月 6月 7月 8月 9月

入学式・新入生歓迎会
オリゼミ(1年)
梅雨合宿(1,3年)
学友会文化展
卒業論文・作品中間発表
前期試験
書道学科講演会
夏期授業
夏季休業
全国高校生書道S-1グランプリ
夏の創作展
後期授業開始
書道特殊実習(通い夏合宿)

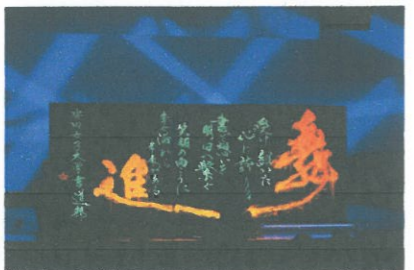


オリゼミ

学内風景



入学式



文化展



基礎ゼミグループ活動



S-1グランプリ



夏の創作展

10月 11月 12月 1月 2月 3月

書道学科講演会
大学祭学科展・書道展
卒業論文提出(4年)
OGシンポジウム
通い冬合宿(1,3年)
冬季休業
卒業合宿(4年)
後期試験
卒業論文発表会
卒業制作展(学科展併催)
春季休業
卒業式・卒業パーティー
書道実地研究(3年)



大学祭書道学科展



卒業論文発表会



就職支援

OGシンポジウム



書道特殊実習(通い合宿)



書道実地研究



卒業制作展



卒業パーティー

*このほか、地域での書道パフォーマンスや書道を生かしたボランティア活動があります。



書道学科の詳しい情報につきましては、下記学科サイトをご参照ください。

URL: <http://www.yasuda-u.ac.jp/course/shodou/>